

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
北区北部山間いきいき大作戦「エコツーリズムキャンペーン」	<p>北区の北部山間地域（中川・小野郷・雲ヶ畑）は、近年、人口の急速な減少と高い高齢化率、携帯電話やブロードバンド等の情報網の整備、公共交通機関の減便などの深刻な共通課題を抱えている。地域の活性化には、人口減少の歯止めと人々の賑わいづくりが不可欠であるが、まずは昼間人口の増加を目指して、豊かな自然をはじめとする既存の地域資源を生かした「エコツーリズムキャンペーン」に取り組むものである。山間部の自然に魅力を感じる環境保護意識の高い層を主なターゲットに、自然や文化財、歴史などの地域の魅力を来訪者自らが発見し、学ぶことができるような事業を四季折々に展開する。来訪には公共交通の利用を促し、バス利用者の増加を図る。事業実施に当たっては、放送メディアやWEBサイト、印刷物による広報活動を積極的に行うこととし、ラジオ放送において番組内でコーナーを設けるほか、キャンペーンスポットを年間通じて放送し、地域の魅力を発信していく。事業内容は次のとおり</p> <p>①雲ヶ畑四季フォトコンテスト開催 ②雲ヶ畑エコツーリズムポストカード作成 ③雲ヶ畑いきいきフォトツアー開催 ④「北山朝市」（中川）来客促進キャンペーン ⑤「小野郷休耕田プロジェクト」支援⑥ラジオ放送等によるメディア広報</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間人口の増加による地域の賑わいづくり</li> <li>・山間地域の魅力の再発見とその発信</li> <li>・エコツーリズム（※）の推進（※自然・歴史・文化など地域固有の資源を生かし、その保護・保全を図りながら観光を成立させることにより、旅行者が地域への関心を深め、理解を高めるとともに、地域経済への波及効果がもたらされるような観光のあり方）</li> </ul>	3,654	2,600	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input checked="" type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査
北区伝統ブランドいきいき発信事業	<p>地元関係団体や民間企業等とタイアップして、京野菜をはじめとする北区が誇る伝統ブランドを広く全国に発信することにより、新たな需要を開拓し、北区の伝統産業の活性化を図る。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>農林業等地域に根ざした基幹産業が活気に満ち溢れるとともに、京都市民のみならず、京都を訪れた観光客が京野菜をはじめとした北区の伝統ブランドの魅力を実感でき、更なる消費ニーズの拡大につながるきっかけをつくる。</p>	1,000	800	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input checked="" type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
上京知っとくナットク体験隊	<p>平安遷都以来1200年を超える長い歴史の中で培われ、育まれてきた伝統や文化が蓄積された上京区において、特に伝統文化について、身近に触れ、体験を通じて伝統文化への理解を深め、尊重する心を育むための講座を実施する。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>地元で生活しているながら、身近に触れる機会の少ない伝統文化の体験講座を通じて、地域の魅力に改めて気付くとともに、地域に対する愛着心を醸成する。</p>	1,200	1,000	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input checked="" type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査
区内大学との共同事業 「大学のまち・左京」 区民講座の開催 ～区民とともに学ぶ左京学～	<p>区内に6つの大学が集積する左京区では、「大学のまち・左京」の特性を生かした取組を進めてきた。</p> <p>各大学の第一線の研究者と区民がいっしょになって左京区の特性や現状を考え、「大学のまち・左京」ならではのまちづくりを進めるため、区内大学と左京区役所の共同事業として、「大学のまち・左京」区民講座を新たに開設する。</p> <p>具体的には、「区民とともに学ぶ左京学」をテーマに、各大学では「左京の自然環境」「左京の文化」について、それぞれの大学の特色を生かした講座を開講する。左京区役所では「左京の暮らし」について、区内各地域において、それぞれの地域の暮らしの変化に関する講座を開催する。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>区内の大学と左京区役所が共同で区民講座を開催することにより、区民と大学がいっしょになって左京区の魅力や現状を考えるとともに、「大学のまち・左京」ならではのまちづくりを推進する。さらに、講座記録の発行等を通じて、多くの区民に左京区の特性を知ってもらう。</p>	2,200	1,200	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input checked="" type="checkbox"/> 積算内容精査 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
静原地域のまちづくり	<p>京都の奥座敷「貴船・鞍馬」と、数多くの文化遺産を有する「大原」の間に位置する静原地域は、市街地から30分程度という立地にあるにもかかわらず、人の心を癒す里山の原風景を残す自然豊かな地域であるとともに、静原城址や、静原神社をはじめとする多くの社寺を有するなど、歴史と文化に彩られた素晴らしい地域である。また、静原地域を走る府道下鴨静原大原線は、近年、市原バイパスが開通したことにより、大原方面（国道367号沿道）から、市街地に向かう準幹線道路の機能を果たしており、交通量も増加傾向にあるとともに、京都北山トレイルの沿線でもあり、大原から鞍馬を目指すハイカーも多く通過している。</p> <p>一方、静原地域は、市街化調整区域に指定されており、原則、農業を営む住民しか住宅の建設が認められないため、人口は減少傾向にあり、静原小学校の児童は19人しかおらず、現在の動向が続けば、小学校の存続も危ぶまれる状況にあるなど、少子高齢化が進んでいる地域でもある。</p> <p>しかし、隣接する「貴船・鞍馬」や「大原」のように、全国的に観光地として認知されるには至っておらず、又、地域主導のまちづくり活動によって、積極的なPR等がなされているとまでは言えない状況にある。</p> <p>については、静原地域に行政がスポットを当て、「自治・自立」による継続した「魅力を生かしたまちづくり」に取り組んでいただくきっかけづくりを行うことにより、静原地域の活性化を目指す。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>地域コミュニティを活性化し、地域住民自らによる自治・自立の魅力あるまちづくりを目指した活動が継続して実施される。</p>	1,500	800	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
人口増加に対応した地域活動の支援事業	<p>マンション住民等、新たに区民となる方が増加している中で、地域において住民間の交流・融合が円滑に進まないことが、地域活動の推進に支障を及ぼしている。このため、中京区においては、自治会等の関係者が、地域住民の交流について学区を越えて情報交換し、新たな取組を生み出すことができるよう、平成20年度から「地域とマンションの交流に関する情報交換会」を開催している。20年度末には、情報交換会において話し合われた情報等を取りまとめ、地域が実際に活動を展開するにあたり参考とするための報告集を作成した。21年度も情報交換会を継続し、新たな情報や参考事例等を追加掲載した報告集改訂版の作成を予定している。</p> <p>平成22年度は、2年間の情報交換会の中で得られた情報やアイデア等をより実現可能な取組として具体化するために、パイロット学区を数箇所選定し、学区内の関係者を対象とした学区まちづくり事業検討会議（仮）を開催する。22年度はプランづくりを行い、23年度に取組の実施を目指す。実施にあたっては「中京区にぎわいのあるまちづくり支援事業」等、既存の支援策の優先枠取扱いも検討する。また、次世代のまちづくり活動の担い手の育成プログラムである「中京区まちづくり次世代推進者共育支援事業」の受講者に、学区まちづくり事業検討会議（仮）へ参加していただくなど、他の事業との連携を目指す。</p> <p>&lt;成果目標&gt;  「京都の最大の社会資本である地域コミュニティ」の維持、活性化を推進し、「京都の都市格と存在感を高める新しい住民自治」の実現を図る。</p>	500	500	<p>■要求どおり</p> <p><input type="checkbox"/>積算内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業内容精査</p>

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
大学・地域いきいき東山推進事業	<p>東山区は、市内で最も少子高齢化が進行し人口減少も著しい。また、近年の生活様式や価値観の多様化により、住民の地域活動への参加頻度は低下し、自治組織での担い手不足が問題となっている。そこで、区内の大学との地域連携の包括協定締結から3年目に当たり、地域と大学との協働により「地域力」を高めることを目的に、大学と地域との連携に関する調査及び普及促進事業を実施する。</p> <p>(1) 大学地域連携に関する意識調査とニーズ調査の実施  (2) 大学地域連携普及促進事業「東山区大学地域輪い輪い(わいわい)祭(仮称)」の実施</p> <p>&lt;成果目標&gt;  地域と市内大学の連携に関するニーズ等を把握することにより、これまでの事業成果の点検・分析を行い、より一層の連携強化のための仕組みづくりを目指す。  また、市内大学と地域、さらには大学間の交流を深め、大学の地域への参画を促進し、地域力の向上を図る。</p>	1,660	1,200	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input checked="" type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査
山科区交通問題研究会(仮称)の設立	<p>山科地域では、平成9年10月の地下鉄東西線開業に伴い、醍醐車庫が廃止され市バス路線が京阪バス路線に一元化された。その後、バス路線の見直しが一部行われているものの、区自治連総会「明日の山科を考える」において「公共交通機関の利便性向上」が懸案事項と位置づけられるなど、問題解決を望む区民の声も高まりつつある。</p> <p>また、平成20年度に、次期山科区基本計画策定に向け、各学区・団体から地域課題を抽出したところ、約半数の学区が、交通体系の整備が課題であると認識をされている。</p> <p>そうしたことから、区が地域要望を把握し、「『歩くまち・京都』総合交通戦略」の考え方にに基づき、区の交通問題を解決するための対策案を議論する場として、区内交通事業者、地元団体、学識経験者、庁内関係部局などで構成する交通問題研究会(仮称)を設立する。</p> <p>&lt;成果目標&gt;  研究会において、現在の京阪バス路線の新設や変更のみならず、コミュニティバスの検討や、地域の病院バスや福祉バスとの連携など、具体的なバス路線の再構築について、地下鉄の増客につなげることも視野に入れ、対策案について研究・検討する。</p>	2,200	1,200	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input checked="" type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
おこしやす“やましな”スタンプMAP (仮称)～山科を巡って、名産品をゲットしよう～	<p>山科では、NPO法人「おこしやす“やましな”協議会」が、観光案内板や観光マップの作成といった取組を展開するなど、地元団体が積極的に観光振興に取り組んでいる。</p> <p>平成21年秋の観光シーズンには、地元団体と山科区役所が連携し、京都・やましな観光ウィーク「恋の地・平安浪漫(ロマン)の路(みち)in勸修寺(かじゅうじ)・随心院(ずいしんいん)」を実施した。イベントには多くの方に訪れていただき、平成22年度についても地元団体が主体となって継続的に実施していく予定である。</p> <p>平成22年度は、更なる観光客数の増加を図り、地下鉄の増客対策につなげていくため、地元団体と連携し、スタンプラリーを実施する。そのことによって、山科で行われる観光イベントや観光名所をPRするとともに、山科の名産品についても紹介する。</p> <p>①スタンプラリー 毘沙門堂や勸修寺、随心院など、あらかじめ指定された施設を複数訪れた方への山科の名産品のプレゼントや、本事業に参加した方への拝観料割引などの特典を用意する。</p> <p>②広報活動 既存の印刷物をリニューアルし、山科で行われる観光イベントや観光名所をはじめ、山科の名産品についての情報をまとめ、スタンプラリーの台紙として活用する。また、区外や市外の方に訪れてもらうため、作成した印刷物を各所で配布し、山科の観光情報の周知を図る。</p> <p>&lt;成果目標&gt; これまで地元団体と連携し取り組んできた観光振興に係る取組実績を踏まえ、本事業を広く発信し、更なる観光客数の増加を図るとともに、地下鉄の増客対策につなげていく。</p>	1,000	1,000	<input checked="" type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
南区地域コミュニティ育成支援事業	<p>地域活動の基盤となるコミュニティの弱体化が大きな課題となっている。地域コミュニティの活性化を目指し、その前提となる地域住民の参加拡大を図るため、市民主体のボランティアやサークルに働きかけ、交流の機会を設け活動領域を広げてもらうとともに、一般市民への参加促進を行う。</p> <p>具体的には、地域活動の参加に意欲がある市民に、自分に合ったボランティアサークルやグループを見つけてもらいグループ活動への参加の機会を提供することで、将来的に地域活動の担い手として成長できる環境づくりを目指す。</p> <p>平成22年度は、サークル等が持つ地域活動への参加の登竜門としての機能強化を図るための講演会を開催しボランティアやサークルの連携や情報提供を活発化するとともに一般市民の活動参加を促進する。</p> <p>そのため、各サークルの代表者と区役所が連携し、有識者による子育て支援に関する講演と南区内で活動する子育て関係機関・団体による活動内容の紹介及び意見交換会を実施する。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>地域コミュニティ活性化のため市民主体のボランティアサークル等に働きかけ、団体相互の連携や情報提供を強化し、地域活動の参加に意欲がある市民が将来的に地域活動の担い手として成長できる環境を整える。</p>	500	500	<p>■要求どおり</p> <p><input type="checkbox"/>積算内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業内容精査</p>

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
「花畑と稲穂の里山」 宕陰活性化事業	<p>右京区では、北部山間地域（水尾、宕陰、京北）の活性化をまちづくりの重要課題に位置付けている。</p> <p>宕陰地域は、人口145人、世帯数55戸（平成21年8月1日現在の推計人口）であり、平成17年に実施された国勢調査以降、人口、世帯数ともに減少し、高齢化率は36.8%（平成21年10月1日現在）となっている。</p> <p>少子高齢化が進む宕陰地域にあつては、地域の存続と活性化のための持続可能な取組を住民主体で進めることが喫緊の課題となっている。</p> <p>本事業は、宕陰地域の住民との共汗により、訪問者に宕陰の魅力を感じてもらえるように、棚田風景などのビューポイントへ導く案内看板の設置や散策路の整備などに取り組むことで、地域住民の手によって自主的・主体的な宕陰地域の魅力をPRするとともに、その取組の過程において住民自身が地域を見直し、今後の地域の課題と目指すべき方向性を見出してもらう。</p> <p>また、宕陰地域以外から移り住まれている方にも参加してもらう「まちづくり委員会」を設置し、これまでから取り組んでいる「宕陰星空ファンタジー」や「宕陰ハロウィーン祭」の地域活性化事業をベースとして、宕陰地域ならではの「やすらぎ」と「くつろぎ」の提供と、宕陰の特色である里山の自然（農村景観）を生かした新たな体験プログラム（暮らし方、農業の営み等）の開発に取り組むことで、宕陰ファンの獲得と地域の活性化の材料とする。</p> <p>更には、これらの事業の実施を通じて得た成果や課題と、向かうべき将来像を住民相互で共有し、地域の将来を見据えた「宕陰アクションプラン」を作成する。</p> <p>※産業観光局事業「越畑・棚田の里整備事業」との共同事業として実施する。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>地域住民と協働で事業を行なうことにより、住民自身が地域の魅力や問題点を再認識し、今後の地域の方向性を住民相互で共有しながら、自立した活動を目指す。</p> <p>更には、グリーンツーリズム等の将来的な事業展開に繋げ、かつ持続可能な体験プログラムを模索する。</p>	700	700	<p>■要求どおり</p> <p><input type="checkbox"/>積算内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業内容精査</p>

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。



(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
松尾山～桂坂ウォーキングロード（里山縦走）整備事業（仮称）	<p>西京区では、区民との協働により平成20年度に作成した「西京ウォーキングマップ」を活用した「西京区魅力再発見ウォーキング」を開催するなど「歩いて楽しいまち 西京」の推進に取り組んでいる。</p> <p>本事業は、緑豊かな自然環境に恵まれた西京区の特徴を大いに生かし、「歩くまち」、「環境」、「観光」といった視点を基本に据え、松尾山から桂坂にかけて、歴史古道である「唐櫃越」を中心に整備することにより、「京都一周トレイル西山コース」と「西京ウォーキングマップ大枝コース」を直接結節し、嵐山から大原野地域までを巡るコース設定を可能とするものである。本事業については地元の方々も熱望されており、実施に当たっては、区民にも親しみと愛着を持ってもらえるよう、地域ボランティアとの“共汗”によって進めることとしている。</p> <p>具体的事業内容については、案内・誘導標識やベンチ等の設置をはじめ、ごみのポイ捨て防止のための啓発看板を設置し、環境保全意識の向上を図るほか、橋、手すり、階段、ベンチ等には西山産の間伐材を使用して、西山の木の文化も体感できるものとして整備する。また、一人でも多くの区民や観光客にPRし、健康づくりや観光振興等に資するためにリーフレット等の作成を行うとともに、完成時には地元の方々と協働して区を挙げた記念イベントを開催する予定である。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歩いて楽しいまち西京区の構築」、「環境保全意識の向上」、「観光振興の更なる推進」といった3つの観点を基本に据える。</li> <li>・「京都一周トレイル西山コース」と「西京ウォーキングマップ大枝コース」の結節による嵐山から大原野地域までのウォーキングロードの整備</li> <li>・ごみのポイ捨て防止のための啓発看板の設置や西山産の間伐材を用いた橋、手すり、階段、ベンチ等の設置による観光客の環境保全意識の向上</li> <li>・リーフレットの作成及び記念イベントの開催による観光振興の推進</li> </ul>	1,000	1,000	<p>■要求どおり</p> <p><input type="checkbox"/>積算内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業内容精査</p>

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
「地域力」育成支援事業 ～木と華の香り漂う・花いっぱい運動の展開～	<p>今年度、西京区では『西京「地域力」育成支援事業』の取組を通じて、地域力の向上を目指している。これらの取組を一過性のものとして終わらせることなく、更に発展させ、主体的かつ積極的な取組へと移行させていくためには、継続的な取組が不可欠である。そこで、平成22・23年度においても「まちづくりリーダー塾」を実施し、各学区・地域それぞれの課題解決に向けて活動する「まちづくりリーダー」を育成・支援していく。また、今年度のモデル学区・地域での検討を具現化するため、自治会活動活性化の重要な要素である「出会い・きっかけづくり」及び「地域の絆」を創出する取組を平成22・23年度にモデル実践事業として実施する。「地域環境美化」という、多くの区民にとって関心が高く、誰もが参加しやすい活動とし、地域内から産出される間伐材等を使用したプランターによる飾花活動を展開し、より一層美しく安らぎのある西京区を目指していく。周辺住民・民間事業者など花や緑に関心のある方々が一体となって、活動することにより「出会いと絆」が創出されるとともに、このような活動をより身近に感じていただき、自治会活動への理解と参画に繋げていくことを図る。加えて、自治会未加入者などの、自治会活動等の地域活動になじみが薄い区民に、継続的な啓発を行い、具体的な活動事例を紹介し、その内容・効果及び重要性を強く訴求するとともに、活動参画に向けた情報提供を行うために「まちづくり推進活動フォーラム」を開催し、各学区・地域における自治会活動の活性化を図り、西京区全域における地域力の更なる底上げを目指していく。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各リーダーの資質の向上や、出会いの創設による地域での絆の深まりにより地域力の向上を図り、自治・自立・協働による安心・安全なまちづくりを進める。</li> <li>区民が「リーダー塾」や「フォーラム」を通じて、自治会活動等に対する認識を新たにさせていただくことで、自治会活動の積極的な参加を促し、地域の活性化を図る。</li> </ul>	950	900	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input checked="" type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
「西京塾」発 公園井戸端会議 (仮称)	<p>西京区では、自主的なまちづくり活動に携わる人材の育成と地域の更なる活性化を目指し、「西京塾」の活動を推進しており、「環境・自然班」及び「地域コミュニケーション班（公園探研隊）」の2つのグループが、区役所と協働しながら精力的な活動を展開しているところである。</p> <p>このうち、「地域コミュニケーション班（公園探研隊）」においては、身近に自然と触れ合うことができ、地域住民の憩いの場となっている公園が、子どもから高齢者まで多くの方のコミュニケーションの場として活用されるよう、「公園自然観察会」等を開催し、手作りネームプレートの樹木への設置や紙芝居の披露などを行っている。</p> <p>こうした区民自らの手による自主的活動の推進を行うとともに、行政との共汗により、身近な公園が持つ多彩な魅力を発信し、より多くの方々に公園への愛着を持っていただき、公園の利用促進はもとより、公園を通じたコミュニケーションの活性化を図ることは極めて重要なことである。</p> <p>このため、地域コミュニティの活性化を目指して、西京塾をはじめ、公園愛護協力会、自治連合会、小学校、植物に関する専門家など、様々な分野にわたる関係者の協力を得ながら、地域住民による公園の利用を促進していくための意見交換等を行う「公園の魅力発信シンポジウム」（仮称）や、区内の主な公園を巡り、各公園の魅力をPRする「緑の探研ウォーキング」（仮称）を実施することとする。</p> <p>また、公園の積極的な利用を呼び掛けていくため、西京塾のメンバーお勧めの区内の公園の見所や活用方法、公園を結ぶルート等について、イラストや写真入りで紹介するガイドマップを製作する。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に対して公園が持つ良さや魅力を発信することにより、公園のより一層の利用促進及び公園を通じた地域コミュニケーションの更なる活性化を図る。</li> </ul>	2,000	1,200	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
『洛西ニュータウン』 創生のまちづくり ～住民が主役でまちの 魅力を高めよう～	<p>洛西ニュータウンはまちびらきから30年以上が経過し、少子・長寿化の進行やコミュニティの希薄化、サブセンターの機能低下など様々な課題とともに、居住者の価値観の多様化により居住環境に関する合意形成が困難となってきた。</p> <p>こうした中、今後のまちづくりの目標や課題、方策等を取りまとめた「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」（平成18年11月策定）の実現に向けて、19年6月に自治連合会、事業者及び洛西支所の代表者が委員となって「洛西ニュータウン創生推進委員会」が発足した。</p> <p>委員会には、課題に応じた4つの部会が設置され、議論を重ね、様々な事業を実施することにより、自治会、各種団体や多様なまちづくり活動団体・個人がニュータウン全体で連携するための「仕組み」が芽生え、新たな「まちづくり体制」が育ち始めている。</p> <p>平成22年度からの3年間では、次の段階を経ながら、近い将来発生することが予想される居住環境等の課題に直面した際に、住民相互が価値観を共有したうえで、洛西ニュータウン内4学区地域全体の合意形成を図ることができる住民主体のまちづくり体制へと発展させる。</p> <p>①多様な活動主体（個人・団体）との連携、住民のまちづくり活動への参加促進 ②洛西ニュータウン全体としての課題の議論を通じての価値観の共有 ③住民が主体となって、洛西ニュータウンの持つ「資源」を全体の視点で持続的に運営 &lt;成果目標&gt;</p> <p>洛西ニュータウン全体に関わる課題を住民が主体となって解決できる新しい「まちづくり体制」を築くことによって、住んでよかったと実感できるまちづくりを目指す。</p>	1,240	1,000	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容精査
久我・久我の杜・羽東 師地域の総合的まちづ くりの推進	<p>当該地域の良好な都市環境の整備推進に向け、地域住民と本市との協働・共汗の取組により、まちづくりに取り組む機運の醸成と、その指針としての「まちづくりビジョン」の策定を目指すとともに、当該地域の多様な住民層の交流促進事業を行う。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>H22：まちづくりビジョンの検討及び地域の交流促進事業への支援 H23：まちづくりビジョンの策定</p>	3,500	2,500	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進	<p>「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、地区計画制度の活用に向けたまちづくり組織立ち上げを目標とした取組を進める。</p> <p>また、平成21年度に立ち上げた「ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会」を核とし、大岩山に散在する不法投棄物を根絶し、これまでに積み上げてきた実績と高まってきた地元住民の機運をもとに、市民が気軽に散策を楽しむことができる美しい里山の再生に向け散策路の整備等を行う。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民、地権者及び事業者等の地元関係者が「まちづくり組織」を立ち上げ、地区計画を策定する機運づくり</li> <li>○大岩山における不法投棄根絶及び散策路の整備</li> </ul>	6,500	3,500	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容精査
深草管内商店街活性化事業	<p>深草管内の商店街、特に、伏見稲荷参道商店街、深草商店街については、深草地域を南北に貫く本町通沿いに（北は東山区との境界となる深草榎木橋町（京阪伏見稲荷駅東側）から、南は藤森神社前までの約2キロメートル）位置しており、本地域（商店街）の活性化は、深草地域のまちづくりにとって大きな課題といえる。</p> <p>そのため、商店街の方々はもとより、地域の大学などと連携し、商店街の活性化に向けた今後の方向性等について情報交換や議論、検討を重ね、深草地域全体の活性化につながる取組を検討するが、その際には、利用者増加につながる調査、利用者や近隣住民等へのアンケートの実施や、各種イベントの実施、店舗や近隣情報などを掲載した「まちかどマップ」を作成するなど、各種事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商店街との意見交換会の実施</li> <li>○各種イベントの実施案（意見交換により決定予定）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街（まちかど）マップの作成</li> <li>・一店逸品（仮称）フェア（イベント）の開催</li> <li>・小中学生による絵画展の実施</li> </ul> </li> <li>○エコバックの作成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「オリジナルエコバック」の作成</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域活性化につながるまちづくり方策の方向性をつかむための意見交換会の実施</li> <li>○地域の顧客事情やニーズ等、商店街利用者増加につながる調査、振興方策の検討</li> </ul>	6,000	1,000	<input type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容精査

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
地下鉄及び醍醐コミュニティバスの活用による醍醐地域活性化事業	<p>醍醐地域は地下鉄東西線が延伸し市内中心部との公共交通ネットワークが整備された。また、市民共同方式で運行している醍醐コミュニティバスも地域の足として広く住民の皆様に活用されている。</p> <p>そして、醍醐には世界遺産の醍醐寺をはじめ、多くの文化観光資源が存在するなどの地域特性がある。</p> <p>そこで、地域住民だけでなく観光で醍醐を訪れる方々にも、より醍醐地域を知って、楽しんでいただくためにお散歩マップを作成し、また、地下鉄各駅にPR用パネルを作成することによって、一人でも多くの市内外からの観光客に醍醐地域に興味を持ってもらい、地下鉄や醍醐コミュニティバスを使って観光してもらえるようにする。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>公共交通機関の利用促進及び、地下鉄やコミバスの乗客増加に繋げ醍醐地域の活性化を意図している。平成22年度末までにお散歩マップの作成及びPR用パネルの作成。</p>	1,500	1,500	<p>■要求どおり</p> <p><input type="checkbox"/>積算内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業内容精査</p>

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。